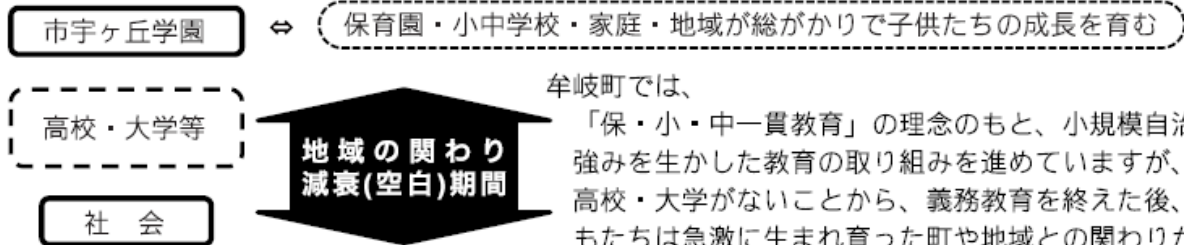


# 【人材づくり(教育)を核とした地域一体化モデル事業】

## ＜取り組みの背景＞



牟岐町では、

「保・小・中一貫教育」の理念のもと、小規模自治体の強みを生かした教育の取り組みを進めていますが、町に高校・大学がないことから、義務教育を終えた後、子どもたちは急激に生まれ育った町や地域との関わりが希薄になっていきます。

生まれ育った町や地域の一員となって、家族や生産産業基盤を支え、担い、次代に引き継ぎ、地域経済や環境を維持発展させてきた地方の原理は消えつつあり、都市への人口集中で成り立つ現代の社会構造は簡単に再編構築できるものではありません。子どもたちが、これからの社会を生き抜く力を身に付けていくために必要なものを、学校の外でも提供していただける体験・教育環境づくりが大切になってきます。

従来の社会通念で、子どもたちの将来を考える？

中学校卒業で牟岐町の教育の役目は終わり？

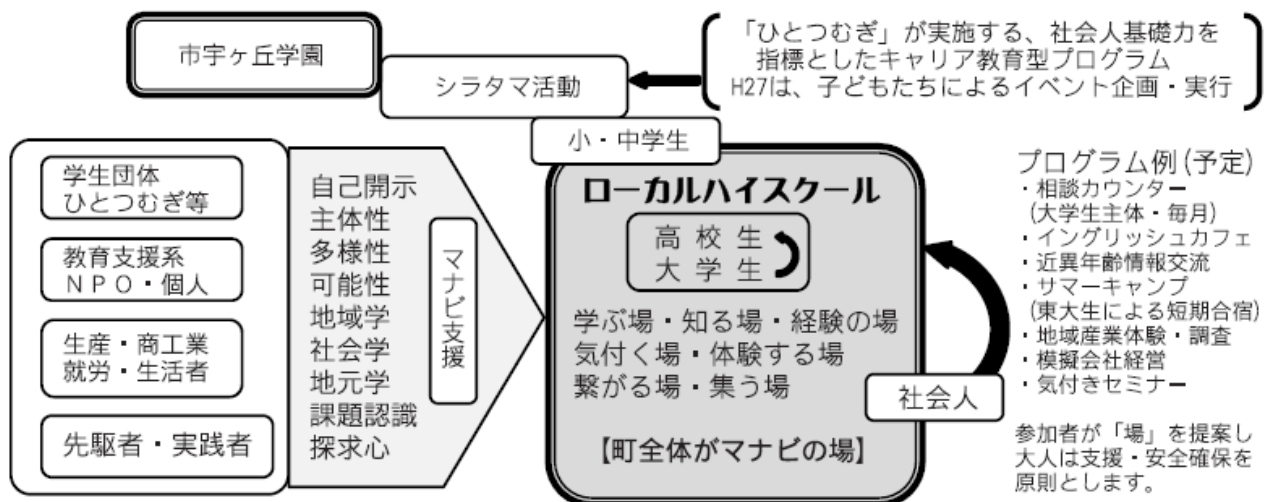
人口減少社会の中で牟岐町が人の営み・暮らしが成り立ち、人が通う地域であるために何が必要か？

この空白期間に、若者を牟岐町の未来へつなぐマナビの場（ローカルハイスクール）を作れないか

## ＜取り組みの目的＞

牟岐町の若者層（中高大学生）を中心に、主体的にマナビの場を提案・創造し、そこに町内外の様々な人材が多様なマナビの提供を行うなかで、地域内外の人材あるいは生まれ育った地域との接点を作ります。

マナビの場（ローカルハイスクール）は、小中学生が市宇ヶ丘学園やシラタマ活動などで培われた成長の芽生えを、中学校卒業をもって寸断することなく、マナビや体験の機会を繋ぎ、継続していく「場」と言えます。多様な価値観や可能性を吸収して進学、あるいは成人となり社会に出た後、今度は町の内外からマナビを持ち込み、子どもたちをリードする立場になる。この人的循環を定着させていくことで、将来の牟岐町を町内外から担い、支える人材（ヒト）の育成を目指します。



## ＜目標とする成果・効果＞

- ・牟岐町教育大綱に掲げる「まちづくりは人づくり」の基本理念を、生誕から生涯教育までよどみなく取り組むために、本事業でマナビの連続性を確かなものとして定着させる。
- ・人材づくり事業に対する支援や関わりをとおして、地域もマナビに触れ、地域基礎力を向上させる。
- ・外部人材の関わりからマナビの場を核としたネットワークを形成し、人的交流の拡大を図る。
- ・内外の人的循環が人的・知的財産を創出し、取り組みが継続されることで牟岐町の魅力化につなげる。
- ・牟岐町ならではの地域総がかりの教育環境整備によって、「明日の郷土を担い、支える真のむぎっこづくり」を牟岐町全体（町が学校）で取り組み、人口減少時代に立ち向かう地域の機運を高める。